

町村をむすぶ

MIYAGI 宮城 町村会だより

<https://www.miyagi-ck.gr.jp>

2025-2026

12-1

Vol.530



「女川レンガみちを照らす初日の出」

JR女川駅から一直線に伸びるレンガみちは、この直線上に初日の出が昇るように設計されています。海から昇る初日の出がレンガみちを黄金色に染め、新年の希望を感じさせます。

町村会のうごき

共済事業アレコレ

町村通信 21 ～涌谷町～

人口減少対策に重点を置いた今後のまちづくり

写真・文 提供/女川町

令和8年度県予算編成並びに施策に関する要請活動・意見交換会

11月10日、宮城県町村会では令和8年度県予算編成並びに施策に関する要請活動を行いました。

当日は、まず宮城県議会を訪問し、高橋伸二宮城県議会議長に対し齋会長から要望書を手渡しました。

37項目にわたる要望項目のうち、特に次の3点について説明し、要請を行いました。

情報システムの標準化・共通化等について、閉鎖循環式陸上養殖研究棟のさらなる有効活用について、自治体病院の医師等確保対策及び持続的運営について

し、宮城県副知事、各部長、教育長並びに公営企業管理者に出席いただき、令和8年度県予算編成並びに施策に関する要望についての意見交換会を開催しました。

冒頭、伊藤哲也宮城県副知事に対し、齋会長から要望書を手渡ししました。

会議では、10月6日に実施した政務委員会において決定された要望事項について、総務建設・産業経済・厚生文教の正副部会長がそれぞれの部会の要望内容を説明しました。項目は次のとおり

・総務建設部会(齋部会長発言)
 復旧・復興関連事業について、町

村財政基盤の強化について、地方税滞納整理機構の継続的な運営について、移住・定住対策の推進について、情報システムの標準化・共通化等について

・産業経済部会(山田副部会長発言)
 日本型直接支払制度について、農地中間管理事業について、閉鎖循環式陸上養殖研究棟のさらなる有効活用について、登山道の整備の推進について、インバウンド及び県内観光客の受け入れ体制の整備について

・厚生文教部会(寺澤部会長発言)
 不法投棄対策の支援について、産業廃棄物処理施設の設置手続きの厳格化について、自治体病院の医師等確保対策及び持続的運営について、教育環境整備の充実について、心のケアハウス事業の継続・拡充について

各部会の要望内容について、県担当部長からそれぞれ回答をいただき、とともに、関係する政策情報について説明がありました。

その後の意見交換では、町村長から多くの意見や質問、提案が出され、県担当部長から、町村が抱える課題への支援について発言がありました。



高橋伸二 宮城県議会議長に要請



伊藤哲也 宮城県副知事に要請



総務省地域力創造アドバイザー
 武田昌大氏

研修には22名が参加し、受講者からは「実践事例や視点を変えての価値発掘等勉強になった」「自分の地域の地域資源の見方が変わった。活用などの具体的方法などを知ることができた」等のご意見をいただきました。

11月14日、宮城県自治会館において、行政課題研修Ⅲを開催しました。講師に武田昌大氏を迎え、「地域の「ないね」を「いいね」にかえる」と題してご講演をいただきました。

武田氏は、故郷である秋田県北秋田市に帰省した際に商店街が閑散としていた状況を目の当たりにしたことをきっかけに地域活性化の取り組みをはじめ、若手米農家集団トラ男の立ち上げや古民家再生など、ユニークな形で秋田の価値や魅力を発信しています。

今回の講演では、当たり前だと思っていたことも、視点を変えてみることで価値を見出すことができ、その方法を解説していただくとともに、これまで実施してきた事業などを紹介いただきました。

行政課題研修Ⅲ

全国町村長大会・要請活動・意見交換会

11月19日、東京都渋谷区のNHKホールにおいて、全国町村長大会が開催されました。

国歌斉唱のあと、棚野孝夫全国町村会長が挨拶し、高市総理大臣ほか来賓の皆様より祝辞を頂戴しました。

大会の議事においては、「食料およびエネルギー自給率の向上対策と農山漁村地域の振興を求める特別決議」を採択したほか、政府予算・施策に関する要望35項目を採択しました。

大会終了後、本会政務委員会の正副部会長及び監事により、衆議院・参議院議員会館を訪問し、宮城県関係の国会議員に対し、大会の特別決議及び要望の実現に向けた要請活動を行いました。

また、18時から、ホテルニューオータニにおいて、宮城県関係国会議員・宮城県知事・宮城県議会議長と町村長との意見交換会を開催しました。

意見交換会では、大会における特別決議及び要望の実現について改めて要請するとともに、今後の地方行政に対する活発な意見交換が行われました。

副町村長研修

10月29～30日にかけて、副町村長研修を開催しました。先進的な取り組みを実施している町村を視察し、効率的な行財政推進に資することを目的として、奈良県三宅町と和歌山県有田川町を訪問しました。

初日に訪れた三宅町では、森本典秀総務部長よりご挨拶をいただいた後、複業人材活用事業について説明を受けました。三宅町では、官民連携、地方創生の推進、住民サービス向上のため、(株)Another worksと「複業人材登用によるまちづくり包括連携協定」を締結し、専門の知見を備えた人物を複業人材として登用することで、行政が抱える課題の解決を図っています。説明後、三宅町交流まちづくりセンターMIMOを視察しました。

翌日は、有田川町を訪問し、中山正隆有田川町長よりご挨拶をいただいた後、「ポートランド流まちづくり」について説明を受けました。有田川町では、「全米で一番住みたい町」と言われたポートランド市の協力のもと、住民主体のまちづくりに取り組んでおり、住民・民間・行政が連携することで、それぞれが受益者となる仕組みを構築しています。説明後、廃保育所活用施設THE LIVING ROOM内を視察しました。THE LIVING ROOMは、廃校となった田殿保育所の活用法について、住民のアイデアを活かし、まちづくり拠点施設としてリノベーションを行い、住民の需要に応じたテナントを入居させています。

町村長選挙

任期満了に伴う南三陸町長選挙(10月21日告示)が行われ、新人の千葉啓氏が無投票で当選されました。

南三陸町長

千葉 啓氏



プロフィール

1966年 南三陸町(旧志津川町)生まれ
1989年 旧志津川町入庁
2023年 南三陸町総務課長
2025年 南三陸町長(1期)
※11月6日就任

三陸沿岸の豊かな海と里山に抱かれた南三陸町は、漁業や農林業を基幹産業とし、自然と共に歩んできた町です。

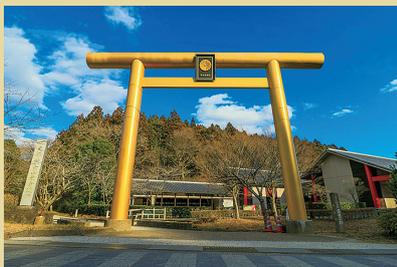
「町民生活第一」を町政の基本に掲げ、一次産業の再構築や地域経済の活性化、そして持続可能なまちづくりに力を注いでまいります。人口減少が続く中であっても、東日本大震災からの復興で得た経験と人のつながりを大切にしながら、互いに助け合い、支え合い、安心して暮らすことができる町を町民の皆さまと共に築いてまいります。

11月 町村会日誌

- ▼10日 令和8年度県予算編成並びに施策に関する要請活動、意見交換会(宮城県議会、江陽グランドホテル)
- ▼14日 行政課題研修Ⅲ(宮城県自治会館)
- ▼17日 東部地区(北海道東北・関東)町村会会長会議(神奈川県寒川町)、全国過疎地域連盟第60回総会(ニッショーホール)
- ▼19日 全国町村長大会(NHKホール)、宮城県関係国会議員、宮城県知事、宮城県議会議長と町村長との意見交換会(ホテルニューオータニ)
- ▼20日 水産業振興・漁村活性化推進大会、定期総会(全国町村会館)、全国山村振興連盟通常総会(グランドアーク半蔵門)、全国観光地所在町村協議会総会(全国町村会館)
- ▼26日 全国町村会政務調査会幹事会、都道府県町村会事務局長会議、災害共済事務連絡会議、北海道東北六県町村会事務局長会議(全国町村会館)

12月

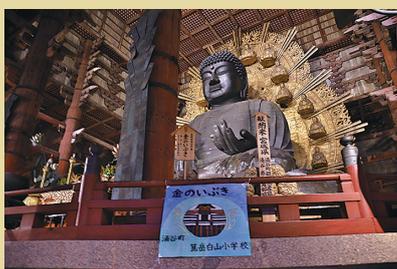
本会主催の行事等はありません。



日本遺産「みちのくGOLD浪漫」
構成文化財黄金山産金遺跡のシンボル金の鳥居



現代の金としてブランド化を
推進する金のいぶき



東大寺大仏殿に献納された涌谷町産「金のいぶき」

また、涌谷町が全国に誇る「日本初の産金の歴史」をはじめ、「みちのくの金」にまつわるストーリーが、文化庁によって令和元年度に日本遺産に認定され、令和7年度の再審査では、これまでの取り組みが認められ、重点支援まいます。

涌谷町では、10年間のまちづくりの指針となる第五次涌谷町総合計画が令和7年度で終了となり、次の10年間のため、令和7年度中の完成を目指し、第六次涌谷町総合計画の策定を進めています。今回策定中の総合計画では、これまでのさまざまな事業を引き継ぎながらも、限りある財源を有効的に投じ、人口減少対策に重点的に取り組み、持続可能な地域社会づくりを推進してまいります。

地域に認定されました。そして、令和4年度には石巻市が、令和7年度には大船渡市が追加認定され、構成市町に加わりました。面的に広がる「みちのくの金」の魅力を生かしながら、日本人観光客のみならず、外国人観光客も積極的に取り込んでいき、地域経済の活性化を図ってまいります。

人口減少対策に重点を置いた

今後のまちづくり

※県内21の町村からお伝えします

町村会の予定

1月

- 9日 正副会長会議
- 14日 行政課題研修Ⅱ
- 25日 宮城県市町村職員採用試験
- 28日 北海道東北六県町村会長会議
- 29日 全国自治協会評議員会
全国町村会長会
都道府県町村会正副会長交流会

2月

- 2日 宮城県市町村非常勤消防団員補償報償組合議会
- 6日 正副会長会議
自治功労者表彰式
町村長会議
- 18日 山村対策懇談会
全国山村振興連盟副会長会議
- 19日 全国山村振興連盟理事会

共済事業アレコレ

全国町村生協の共済事業について

～退職を予定されている組合員の皆様へ～

現職の組合員の皆様へ、退職にあたって、退職者組合員に移行していただきますと、在職中にご加入いただいた共済事業を引き続き、終身でご利用いただくことができます。（特定疾病保険は満79歳までの加入となります。）

また、組合員ご本人がお亡くなりになった場合、希望すれば配偶者の方（加入要件あり）に限り契約を承継することもできます。

※移行にあたっては、次の要件があります。

1. 本組合の職域に10年以上勤務し退職された方
2. 退職時に5年以上継続して本共済事業を利用されていた方

なお、退職者組合員への移行については、退職前に団体担当者の方を通じて「退職者組合員加入承認申請書」を提出していただきますようお願いします。

その後は団体を通さず、退職者組合員と組合との直接の手続きとなります。

詳しい内容は、団体担当者または下記までお問い合わせください。

全国町村職員生活協同組合宮城県支部
（宮城県町村会総務・事業課）
TEL022-221-9203